

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	04	02	001710000	01	スタートアップ推進課	田中 言彦	2024.7.1

# 事業シート

(事業名) 01 スタートアップ支援事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

市内スタートアップの創出や成長を後押しする各種事業を実施するとともに、地域企業との協業促進による新たなビジネスや製品の創出につなげ、本市におけるスタートアップエコシステム構築による地域経済の活性化を目指す。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2016	—	一般会計	自治事務(その他)	各種協定書、要綱など

### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	I -1(3)ア						

### (4) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用 ⑨イノベーション									
事業とゴールの関連性	市内スタートアップ等の資金調達手法の拡大や、製品開発のための実証実験、経営力アップ等の支援を通じて、新しいビジネスの創出、技術力の向上、事業拡大につなげ、地域内における新しいイノベーションの創出や雇用拡大を図る。								

## 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	105,524	685,482	566,743	402,156	417,233	406,654
	決算	102,605	659,462	515,101	345,164	312,681	
	国・県支出	5,736	16,165	58,324	6,456	26,945	9,950
	市債						
	その他	1,312	1,188	1,564		1,100	1,500
	一般財源	95,557	642,109	455,213	338,708	284,636	395,204
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		21,000	25,480	38,780	41,580	29,400	35,700
人工	正規	3.0	3.6	5.5	5.9	4.2	5.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.1	0.1	0.1		
年間経費(予算又は決算+A+B)		123,605	684,942	553,881	386,744	342,081	442,354

## 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
スタートアップの創業数(社／年)	—	目標	—	10	15	20	27	30
		実績	16	31	18	22	25	
市内スタートアップに対するファンドの年間投資額(百万円／年)	—	目標	190	500	1,000	1,500	2,000	3,000
		実績	2,980	5,616	4,615	2,215	5,371	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	04	02	001710000	01	スタートアップ推進課	田中 言彦	2024.7.1

#### 4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

①ファンドサポート事業…認定VCによる市内企業への投資(投資額)に応じて交付金を交付  
 ②実証実験サポート事業…全国のスタートアップから実証実験プランを募集、優れたものを全面的に支援し実施  
 ③スタートアップ成長支援事業…スタートアップに対する総合相談窓口設置やハンズオン支援プログラムの提供  
 ④次世代スタートアップ育成事業…本市の次代を担う人材育成のため、場の提供、セミナー等の開催等を実施  
 ⑤「地域産業×スタートアップ」によるイノベーション創出促進事業…市内企業とスタートアップの協業を支援  
 ⑥ベンチャー支援アドバイザー…本市のスタートアップ支援策にアドバイスを行う「浜松市ベンチャー支援アドバイザー」を設置  
 ⑦スタートアップ地域メンター…スタートアップと地域企業をつなぐ地域メンターを委嘱。      など

#### 5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題  
 指標の達成度 

進んでいる

  
 ファンドサポート事業では、VC54社を認定し、スタートアップ4社に約160百万円の交付金を交付した。実証実験サポート事業では、6件のプロジェクトを採択しサポートを行った。スタートアップ成長支援事業では、ビジネスプランのブラッシュアップなど、15名の成長サポートを行った。その他、大学生や高校生等、次世代人材の起業家精神の醸成を図るため、コミュニティの開設及び育成プログラムを実施した。スタートアップ・エコシステムの構築に向け、多様なスタートアップの創出やスタートアップと地域企業との協業促進など、引き続き取り組む必要がある。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)  
 政府は2022年をスタートアップ創出元年と位置付けるとともに「スタートアップ5か年計画」を策定した。官民をあげてのスタートアップの創出や支援の強化を表明し、スタートアップへの期待は高まりを見せている。また、「社会課題の解決」と「持続可能な社会」の実現を目指し、利益追求だけでなく社会的なインパクトの最大化を目的とするインパクトスタートアップも注目されている。

#### 6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)  
 大項目 

改善

 小項目 

一部廃止

 / 

国・県補助金

 事業費 

縮小

 人 工 

現状

  
 ・実証実験サポート事業では、遠州広域連携の枠組みを活用し、実証フィールドのスケールメリットを出した。  
 ・大学生や高校生等、次世代人材のアントレプレナーシップの醸成を図るため、「次世代スタートアップ育成事業」を実施した。  
 ・スタートアップと地域産業との協業促進に向け、スタートアップ地域メンターを配置(委嘱)した。  
 ・事業の財源として、デジタル田園都市国家構想交付金等を積極的に活用した。

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)  
 大項目 

改善

 小項目 

一部廃止

 / 

国・県補助金

 事業費 

拡大

 人 工 

縮小

  
 ・ファンドサポート事業の交付対象にベンチャーデットを追加する。  
 ・次世代スタートアップ育成事業にデジタル人材育成プログラムを追加する。  
 ・地域企業とスタートアップの協業を促進するため、新たにスタートアップ地域連携促進事業を実施する。

#### 7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

①ファンドサポート事業…認定VCが市内企業に投資した場合、投資額に応じて交付金を交付  
 ②スタートアップ成長支援事業…スタートアップに対する総合相談窓口の設置や伴走型支援プログラムを提供  
 ③次世代スタートアップ育成事業…本市の次代を担う人材を育成するため、場の提供、セミナー等を実施  
 ④実証実験サポート事業…全国のスタートアップから実証実験プランを募集。優れたプランを全面的に支援  
 ⑤スタートアップ地域連携促進事業…市内企業と全国のスタートアップの連携を支援  
 ⑥スタートアップ・エコシステムクラブ運営事業…スタートアップのほか、地域の企業や支援機関等によるコミュニティを形成  
 ⑥スタートアップ支援アドバイザー…本市のスタートアップ支援策にアドバイスを行う「浜松市ベンチャー支援アドバイザー」を設置  
 ⑦スタートアップ地域メンター…スタートアップと地域企業をつなぐ地域メンターを委嘱

事業シート

(事業名) 02 スタートアップ誘致事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

大都市圏をはじめとするスタートアップを本市に誘致し、本市の産業技術との融合を図り、新製品の開発、生産効率の向上、創業者の増加や新たな産業・ビジネスの創出につなげるとともに、地方への雇用や人材の流れを創り出す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2017	—	一般会計	自治事務(その他)	各種協定書、要綱など

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	○	(施策)	I-1(3)ア					

(4) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用 ⑧成長・雇用								
事業とゴールの関連性	市外スタートアップ等の誘致を通じて、本市企業との協業、本市における新しいビジネスの創出、生産の効率化などにつなげ、地域内における新しいイノベーションの創出や雇用拡大を図る。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	31,209	44,201	15,780	39,324	64,406	33,868
	決算	27,736	22,683	33,420	34,392	39,569	
	国・県支出		3,951	9,499	5,514	14,825	11,000
	市債						
	その他	65	2,695	2,511		2,650	3,586
	一般財源	27,671	16,037	21,410	28,878	22,094	19,282
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		9,800	3,920	12,740	14,140	13,300	15,400
人工	正規	1.4	0.4	1.7	1.9	1.9	2.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.4	0.3	0.3		
年間経費(予算又は決算+A+B)		37,536	26,603	46,160	48,532	52,869	49,268

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
スタートアップの誘致数	I-1(3) ア	目標	1	4	6	8	10	12
		実績	4	25	19	19	14	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	04	02	001710000	02	スタートアップ推進課	田中 言彦	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ①舞阪サテライトオフィス運営事業…浜名湖周辺地域にサテライトオフィスを設置し、市外スタートアップの誘致につなげる。  
 <◆場所:舞阪支所4階 ◆部屋数:事務室6室(約30～50㎡)共有スペース1室、管理人室1室>
- ②天竜トライアルオフィス…中山間地域のコワーキングスペースを運営し、中山間地域における新しいビジネスの創出やスタートアップ誘致につなげる。  
 <◆場所:天竜区二俣町二俣1283-1 ◆座席数:最大30席>
- ③はままつスタートアップ・イノベーション拠点形成事業…首都圏等大都市との連携を通じ、イノベーション拠点の形成を目指す。
- ④市外スタートアップ等進出支援事業費補助金…市外から市内に進出する企業の事務所賃料を補助する。  
 (上限5万円/月、補助率1/2)
- ⑤外国人起業活動促進事業(スタートアップピザ)…本市で起業を目指す外国人の起業準備活動を支援する。

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

- (1)事業の成果と課題  
 指標の達成度   
 舞阪サテライトオフィスは、令和5年1月から空室となっていた事務室4が令和5年10月に埋まった。一方、令和5年6月に事務室6が空室となり、現在もその状態が続いている。天竜トライアルオフィスは、利用者の受付方法のデジタル化(Googleフォーム)を図った。国交省「地方都市イノベーション拠点形成事業」及び「インキュベーション施設等都市間連携プロジェクト」の採択を受けたはままつスタートアップ・イノベーション拠点形成事業は、首都圏当大都市のスタートアップの誘致や地域企業との連携に向け、実証実験や情報発信を行った。
- (2)考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)  
 政府は2022年をスタートアップ創出元年と位置付けるとともに「スタートアップ5か年計画」を策定した。官民をあげてのスタートアップの創出や支援の強化を表明し、スタートアップへの期待は高まりを見せている。また、「社会課題の解決」と「持続可能な社会」の実現を目指し、利益追求だけでなく社会的なインパクトの最大化を目的とするインパクトスタートアップも注目されている。

6 事業の見直し (Action)

- (1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)  
 大項目  小項目  /  事業費  人費   
 ・市外スタートアップ等進出支援事業費補助金について、民間のコワーキング施設等が充実してきたこともあり、新規の受付を停止した。  
 ・事業の財源として、デジタル田園都市国家構想交付金や国交省の補助金を積極的に活用した。
- (2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)  
 大項目  小項目  /  事業費  人費   
 昨年度に続き、国交省の「地方都市イノベーション拠点形成事業」及び「インキュベーション施設等都市間連携プロジェクト」の採択を受けている「はままつスタートアップ・イノベーション拠点形成事業」により、首都圏等企業拠点誘致事業の強化を図る。

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ①舞阪サテライトオフィス運営事業…浜名湖周辺地域にサテライトオフィスを設置し、市外スタートアップの誘致につなげる。  
 <◆場所:舞阪支所4階 ◆部屋数:事務室6室(約30～50㎡)共有スペース1室、管理人室1室>
- ②天竜トライアルオフィス…中山間地域のコワーキングスペースを運営し、中山間地域における新しいビジネスの創出やスタートアップ誘致につなげる。  
 <◆場所:天竜区二俣町二俣1283-1 ◆座席数:最大30席>
- ③はままつスタートアップ・イノベーション拠点形成事業…首都圏等大都市との連携を通じ、イノベーション拠点の形成を目指す。
- ④市外スタートアップ等進出支援事業費補助金…市外から市内に進出する企業の事務所賃料を補助する。  
 (上限5万円/月、補助率1/2)
- ⑤外国人起業活動促進事業(スタートアップピザ)…本市で起業を目指す外国人の起業準備活動を支援する。

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	04	02	001710000	03	スタートアップ推進課	田中 言彦	2024.7.1

## 事業シート

(事業名) 03 首都圏ビジネス情報センター事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

大都市圏をはじめとするスタートアップを本市に誘致し、ものづくりに特化した本市の産業技術との融合を図り、新製品の開発、生産効率の向上、創業者の増加や新たな産業・ビジネスの創出につなげるとともに、地方への雇用や人材の流れを創り出す。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2016		一般会計	自治事務(その他)	各種協定書、要綱など

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I -1(2)イ						

#### (4) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用 ⑨イノベーション									
事業とゴールの関連性	首都圏スタートアップ等の誘致を通じて、本市企業との協業、本市における新しいビジネスの創出、生産の効率化などにつなげ、地域内における新しいイノベーションの創出や雇用拡大を図る。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	23,718	12,991	12,614	13,782	13,668	10,966
	決算	19,434	11,623	10,461	13,090	13,318	
	国・県支出				660	1,143	
	市債						
	その他	391		656			
	一般財源	19,043	11,623	9,805	12,430	12,175	10,966
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		14,000	14,000	14,000	15,400	15,400	14,700
人工	正規	2.0	2.0	2.0	2.2	2.2	2.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		33,434	25,623	24,461	28,490	28,718	25,666

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
企業、大学等の訪問件数		目標	350	550	550	550	550	550
		実績	563	463	564	530	592	
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						



(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	04	02	001710000	03	スタートアップ推進課	田中 言彦	2024.7.1

#### 4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ①首都圏ビジネス情報センター事業…首都圏における企業誘致、情報収集などの活動拠点となる「首都圏ビジネス情報センター」を設置。
- ②CICを活用した企業誘致事業…「CIC Tokyo」のコミュニティにおいて、スタートアップ誘致活動を実施。
- ③アドバイザー委託事業…首都圏におけるスタートアップ等の誘致を支援するアドバイザーを設置。
- ④浜松スタートアップナイト開催事業…「CIC Tokyo」において、スタートアップ誘致を目的としたイベント(セミナー)を開催。

#### 5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

##### (1)事業の成果と課題

指標の達成度  計画通り

CIC Tokyo等での活動を中心に約600件の面談(オンライン含む)を行うなど、本市施策の情報提供のほか、首都圏スタートアップ等の情報収集や浜松地域企業とのマッチング及び誘致活動に取り組んだ。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

政府は2022年をスタートアップ創出元年と位置付けるとともに「スタートアップ5か年計画」を策定した。官民をあげてのスタートアップの創出や支援の強化を表明し、スタートアップへの期待は高まりを見せている。また、「社会課題の解決」と「持続可能な社会」の実現を目指し、利益追求だけでなく社会的なインパクトの最大化を目的とするインパクトスタートアップも注目されている。

#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  現状  小項目  現状  /  現状  事業費  拡大  人工  現状

・スタートアップ誘致を目的とした浜松スタートアップナイトの開催回数を1回から3回に増やした。

##### (2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  改善  小項目  情報発信  /  業務改善  事業費  拡大  人工  現状

・スタートアップ誘致を目的とした浜松スタートアップナイトについて、スタートアップ誘致事業内のはままつスタートアップ・イノベーション拠点形成事業で開催する(類似イベントの統合)。

#### 7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ①首都圏ビジネス情報センター事業…首都圏における企業誘致、情報収集などの活動拠点となる「首都圏ビジネス情報センター」を設置。
- ②CICを活用した企業誘致事業…「CIC Tokyo」のコミュニティにおいて、スタートアップ誘致活動を実施。
- ③誘致活動サポート委託事業…首都圏におけるスタートアップ等の誘致を支援するアドバイザーを設置するなど、サポート業務を外部委託。

(管理番号)									
2024年度	分野 01	基本政策 01	政策 04	予算費目 02	所属コード 001710000	事業 04	(担当課) スタートアップ推進課	(責任者) 田中 言彦	(基準日) 2024.7.1

## 事業シート

(事業名) 04 スタートアップ推進デジタル運営経費

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

スタートアップ推進課のデジタルを使用した業務を円滑に進める。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021		一般会計	自治事務(その他)	

#### (3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略		(施策)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算				1,808	1,732	1,614
	決算			179	1,807	1,732	
	国・県支出				825	697	
	市債						
	その他						
	一般財源			179	982	1,035	1,614
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				560	1,260	1,120	2,100
人工	正規				0.1		0.3
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.2	0.2	0.4	
年間経費(予算又は決算+A+B)				739	3,067	2,852	3,714

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	01	04	02	001710000	04	スタートアップ推進課	田中 言彦	2024.7.1

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

- ①Ipadタブレット電話料  
②スタートアップ情報収集プラットフォーム使用料

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

- ①Ipadタブレット電話料  
②スタートアップ情報収集プラットフォーム使用料



(管理番号)									
2024年度	分野 01	基本政策 01	政策 04	予算費目 02	所属コード 001710000	事業 05	(担当課) スタートアップ推進課	(責任者) 田中 言彦	(基準日) 2024.7.1

## 事業シート

(事業名) 05 スタートアップ推進運営経費

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

スタートアップ推進課業務を円滑に進める。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021		一般会計	自治事務(その他)	

#### (3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略		(施策)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

### 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算				1,951	1,443	1,280
	決算			544	1,266	1,236	
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源			544	1,266	1,236	1,280
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				6,720	7,420	6,580	11,900
人工	正規			0.8	0.9	0.7	1.3
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.4	0.4	0.6	1.0
年間経費(予算又は決算+A+B)				7,264	8,686	7,816	13,180

### 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2023年度)事業実施内容 (Do)

①スタートアップ推進にかかる事務経費

5 前年度(2023年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2023年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2024年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

7 当年度(2024年度)事業実施内容(Plan)

①スタートアップ推進にかかる事務経費